

補足：

皆様

急なお知らせとなりましたことお詫び申し上げます。

存命中は、岩永へのお言葉あるいは遠方からのお見舞いを多く頂き有難うございました。岩永と話している内に、お見舞いにお越しいただいた方と色々とお話しして楽しかった様子がわかり嬉しく存じました。昨年夏ごろ、「人生でよかったことは？」と尋ねたところ「研究ができたこと」と断言しておりました。

皆様と岩永とのご関係ははかり知れませんが、良き思い出がありますことを願っております。

お通夜と葬儀は6月22日午後および23日午前に取り行われました。会館は数年前に子供らに知らされており、父母らの意思で会員となったところでございました。

現在、母岩永光比子は自宅近くのケアホームに入居しており、外部との接触が限られた生活を送っております。また、子供らおよび岩永の親戚は大阪、東京等、福岡から離れた場所で暮らしているため催事について至らぬ部分がございますことお許し下さい。

感染症の第2波が始まりかけているとの情報が日に日に大きくなっております。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

小野（岩永）桂子、聡子、紀子